

媛ひめに逢える日



「木華開耶媛」1929(昭和4)年(部分) 京都府立堂本印象美術館蔵

どうもと いんしょう

堂本印象

と

とうきゅうしゃ

東丘社

2013年

10月5日(土)~11月24日(日)

そして 山本茂斗萌

開館時間 / 10時00分~17時00分(入館は16時30分まで)

休館日 / 月曜日

(但し10月14日、11月4日は開館し翌10月15日、11月5日が休館。)

観覧料 / 一般500円、大学・高校生300円、中・小学生200円

(団体割引有、ココロカード利用可)

- 主催：丹波市教育委員会・丹波市立植野記念美術館
- 後援：兵庫県・兵庫県教育委員会・NHK神戸放送局・サンテレビジョン・丹波新聞社
- 協力：京都府立堂本印象美術館・東丘社

丹波市立 植野記念美術館

堂本印象と

東丘社



堂本印象「自画像」1935年 京都府立堂本印象美術館蔵



堂本印象「女人出定」1938年 京都府立堂本印象美術館蔵



堂本印象「深山映雪」1921年 京都府立堂本印象美術館蔵



堂本印象「繚廓不空」1965年 京都府立堂本印象美術館蔵



堂本印象「秋深し」1960年 京都府立堂本印象美術館蔵



堂本印象「エトワール」1952年 京都府立堂本印象美術館蔵



三輪 晃久「風わたる」2013年



由里本 出「水湿む湿原」2013年



高越 寛「とまと」2013年



山本茂斗萌「熱う二人」制作年不詳 三友楼 蔵

西陣の図案作家を振出しに日本画家として大きな業績をあげた堂本印象は、画塾東丘社を主宰し、京都画壇の中でも重要な位置を占めています。戦前においては古典と仏教の影響を受けつつ題材を広く求めて帝展でも入選を重ね、戦後は抽象画や風俗画など、旧来の日本画の枠にとどまらない幅広い作家活動を展開しました。

ところで丹波市は、郡部でありながら多くの画家を輩出していますが、その中で、旧制柏原中学に赴任し永く教鞭をとった山本茂斗萌（やまもとともめ）は、堂本印象が主宰する画塾東丘社に参加して作画活動を行う傍らで、子息の中尾英武をはじめ現在も活躍する多くの美術作家を育てました。

本展覧会では、印象自身が構想創設した堂本印象美術館の所蔵作品30点と、東丘社所属作家の現在の作品を展示します。併せて、丹波市が「美術の里」として活発な美術・作家活動が行なわれる地域となっていくひとつのきっかけをつくった山本茂斗萌の作品を展示します。

関連行事・イベント

※いずれも参加料は無料ですが、別途入館料が必要です。
(申込み) 電話 (0795-82-5945) にてお申し込みください。

●開塾記念講演会「堂本印象と東丘社と山本茂斗萌」 (10月5日(土)午後1時30分～)

場 所：植野記念美術館 2階 研修室
講 師：三輪 晃久（堂本印象美術館長・東丘社代表・日展評議員）
由里本 出（東丘社運営委員・日展評議員）
山田由希代（堂本印象美術館主任学芸員）
先着 100名まで。

●ミュージアムコンサート 「深秋の空へ チェロとピアノデュオ コンサート」 【平成25年10月27日(日)午後1時30分開演】

出 演：斎藤 建寛（チェロ） 細見 理恵（ピアノ）
場 所：植野記念美術館 2階 研修室
先着 100名まで。

●ワークショップ「とびだす秋のミニ絵本づくり」 (11月4日(月)午前10時30分～午後3時30分)

講 師：村上祐喜子
場 所：植野記念美術館 2階 研修室
対 象：小学生以上（三年生以下は保護者同伴）
参加費：実費（1人500円程度）
先着 30名まで。

丹波市立 植野記念美術館

〒669-3603 丹波市氷上町西中 615-4 TEL.0795-82-5945
<http://www.city.tamba.hyogo.jp/site/bijyutukan/>

【交通案内】

電車・バスで訪れる場合
JR福知山線柏原駅（又は「石生駅」）下車後、神姫グリーンバスで「美術館前」下車すく。
神戸・大阪・京都・淡路から高速バスで氷上バス停下車徒歩5分。

自動車でお訪れる場合

舞鶴若狭自動車道春日JCTから北近畿豊岡自動車道 氷上I.C.経由、氷上の信号を左折。
播但連絡道路・和田山JCTから北近畿豊岡自動車道 氷上I.C.経由、氷上の信号を左折。

